

共立女子大学文芸学部報

共立女子大学文芸学部報
第142号
発行日 2023年1月12日
編集・発行 共立女子大学
文芸学部
〒101-8437
東京都千代田区
一ツ橋2-2-1
発行責任者 藤田岳久
創刊 1968年12月
題字 遠藤慎吾
第二代文芸学部長
デザイン・イラスト
石田万柚子

学芸部報に関するご意見・ご感想を以下のメールアドレスまでお寄せください。
gakubuh@kyoritsu-wu.ac.jp

学芸部報は共立女子大学公式HPの「文芸学部」のコーナーでもお読みいただけます。



第142号	主目次
第1面	第1回フォト&ストーリー・コンテスト 入選作&選評
第2面	特集 先輩たちの社会人生活
第3面	先輩、就活どうでしたか? 今井秀和先生インタビュー 学部長から
第4面	領域から 心象点描

水

元気

泣きながら起きた。喉の渇きと、鼻の詰まり、頬に生ぬるい感触がある。純度の高い早朝の太陽が、カーテンの隙間を潜り抜けて、部屋の床に直線を引いている。血管はバクバクと動いているが、体は動かさないうままに横たわっている。熱を持った死体に見られるだろうか。

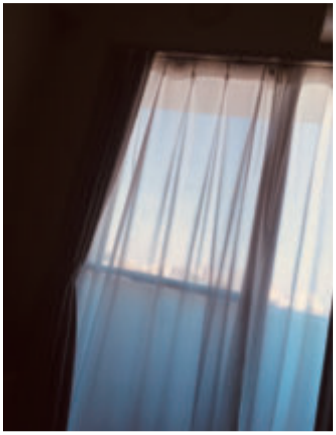
どんな夢を見ていたのか、一向に思い出せない。ただ、悲しくて、温かい心地だけが鮮明に残っている。なんで、泣いているのだろう。怖い夢ではなかった。成人した大人が、夢で泣くなんて情けない。

そういう僕は、一度だけ、大人が泣いている姿を見たことがあった。今の今まで忘れ切っていた。いつの頃だったか。ゆっくりと、もう一度目を閉じて、当時の描写を呼び起こす。

中学生の頃の僕は、よく図書館に居座っていたはずだ。勉強とか、読書とか、何か目的があるわけではなく、なんとなく帰宅をせずに時間を過ごしていたかった、と思う。季節も思い出せない、放課後。ぼんやりとトイレに行った時、泣いている和泉先生とすれ違った。

和泉先生は、シンと張り詰めるトイレの個室から一度だけ鼻を吸り、出てきた。僕は、和泉先生の授業を受けたことがないから、話しかけなかった。というのは、言い訳っぽいかな。

こちらが目を見張るほど真っ赤に腫らした目



と、雨が滴る蜘蛛の巣みたいなまつ毛を捉えた瞬間に心臓がグツと縮んだ。和泉先生は、何か虚ろでありながらも、揺らぎのない瞳を輝かせていた。僕は、後ろめたさで恥ずかしくて、何も気づかない振りをしてしながら視線を逸らした。う。そんな僕を気にも留めず、和泉先生は、踏みしめた足で風みたい、横を通り過ぎた。

あの時の和泉先生は、何を考えどう生きていたのだろうか。あの時の和泉先生を見た僕は、僕は、どうだった？ 和泉先生とすれ違った後、足が張り付いて、しばらく動けなかった。幻なのに、僕だけに働く引力。

大人の見掛けで生活するようになった今の僕なら、少し分かる気がします。全てを割り切らないままで、怪我を背負いながらひっそりと抗う人。生きるのが下手だと言われる類。それでも、渾身の力が水面に当たってくれ、まだ戦ってくれ、何も為さない周辺さえ祈りたくなる姿。

忘れていても、脊髄に寄り添っている記憶だから安心できた。欠けていた僕に与えてくれた水分が涸れ果てないように、確かに目を開いてみる。

別れの季節

ふくろう

私が中学を卒業して、一年が経つ。私が通う高校では、緑の木々の中にピンク色の花が鮮やかに咲いていた。

そろそろだと思っていたが、家に教員の異動の情報が載った新聞が届いた。そこには、私が中学三年のときに担任だった先生の名前が載っていた。今年で定年退職することは知っていたので、特に驚かなかった。しかし、新聞に載った名前を見ると、急に現実的になってしまった。元気がない生徒や、仲間外れにされている生徒によく気がつく女性の先生だった。

中学の頃の私は周りの目を気にするあまり、行動に移すことが苦手だった。そんな私を先生は気にかけてくれて、一度手紙を書くときや人間関係で上手いかないときは、その手紙を読むことにしている。

何かお礼をしたい。悩んだあげく、私は手作りのお菓子を贈ることにした。給食でいつもおかわりをしていただいていた先生なら好き嫌いはないだろうし、感謝の気持ちを込めて手作りのものにしたかった。何を作ろうか悩んだが、高校の調理実習でバナナのパウンドケーキを作って美味しかったのを思い出して、それに決めた。



例の新聞を見てから三日後、先生と一時に会う約束をしている。パウンドケーキを作り終え、一切れずつ包みに入れておくと、私はお菓子を渡すことを選んだことを後悔した。以前なにかで、教師は生徒や保護者から手作りのものを受け取ってはいけないと、聞いたことがあった。時刻は十二時二十分。他のプレゼントは用意していなかった。不安なまま、一年振りに中学校の門を通った。春休みのためか、生徒はいないし、静かだった。深呼吸をしてインターホンを鳴らすと、あの明るい声があった。ドアが開くと、一年振りを見る先生が笑顔で迎えてくれた。私たちは三年生の教室に行った。「そこに座って」と言われたが、その前に、パウンドケーキの入った袋を恐る恐る渡した。すると、「え!? いやー」と言われ、困った表情で机の角に両手をつき、なだれるようにしゃがんだ。やっぱり、お菓子の受け取りは禁止されているんだ。手作りにこだわって、一生懸命に作った自分が恥ずかしくなった。すると、先生は立ち上がり、「いやー、実は再任用でもう一年いるんだよ」と申し訳なさそうに言った。パウンドケーキは、「ちょっとお腹すいてたんだよ」と言ってお腹すいてくれた。受け取ってあげることになったのか、先生がもう一年いることになったのか、私は安心して、涙が出そうになった。その後、話を聞いて、先生が全く変わっていないのが嬉しかった。お別れが一年延びて果たして良かったのか。また一年後には、同じ寂しさを経験することになる。それでも、今は話せるうちにたくさん話をしよう。

時を返す桜

天城

一月の東京は、こんなにも暖かいものだっただろうか。自宅への道を歩きながら、額に滲んだ汗を拭う。頬を撫でる風は、春のそよ風のように生ぬるい。今朝はきつく巻いていたマフラーや、膝下まであるロングコートは、今となっては小脇に抱えて。もうすぐ午後六時をまわるというのに、まだ地平線から顔を覗かせている太陽は、相変わらずオレンジ色の光を放ったままだ。二時間前に大学の窓から見えていた色と変わらぬ。



まるで時が止まってしまったかのような。それでいて、季節だけが先に進もうとしているかのよう。な。「異常気象」などという言葉では、到底表しきれない不可解な現象。それが今、目の前にあるのかもしれない。かと言って、自分の行動が何か特別変わるわけではない。ただいつも通りの道を歩き、いつも通り帰宅する。すれ違うサラリーマンや女子高生も、別段異常を気にする様子はなく、上着を片手に歩を進めていた。もしかすると人間は、非日常が急に訪れたところで、すぐには日常から離れられない生き物なのだろう。川沿いの歩道を歩きながら、両側に植えられた木々を眺める。春

には満開の桜並木が楽しめるこの場所は、今はただ枯れ木が連なるだけの、寒々とした道になっている。沈み続ける夕日の赤い光に照らされ、道に長い影を落とす裸の木々。その影の黒さが、赤々と輝く地面の反射を際立たせている。そんな道の中、数メートル先の位置に、何かが落ちていたのが目に留まった。そっと近づけば、十数センチほどの茶色い枝の先に、今にも開きそうなピンク色の丸い蕾がいくつかついている。周りは枯れ木ばかりなのに、どこから来た枝なのか。そもそも、こんな季節にもう蕾がついているのは何故か。そんな疑問が浮かぶよりも先に、思わず枝を手に取っていた。止まった太陽に照らされるだけの蕾は、このままでは永遠に咲くことはできないだろう。それが何だかひどく哀れになって、気がつけば家まで持ち帰っていたのだ。

台所にあった小さな黒い箱を取り出し、水を張る。折れた枝に今更どうこうしたところで、何も変わらないかもしれない。それでも、この可哀想な儂い存在に、どこか命を与えてやりたいと思っってしまったのだ。

机においた水の入った箱の中に、枝の先を浸す。そのままじっと見守っていると、少しずつ、蕾が花開いていくのがわかった。薄ピンク色をしたその花弁は、今まで目にしたどの桜よりも美しく、神聖なもののように思えた。

窓の外に太陽は、いつの間にか、すっかり顔を隠していた。

「文章に取り上げられたエピソード」

「僕」という言葉が執拗にくりかえされることにより、存在していることの不安が逆に際立って感じさせられます。(佐藤)

「文章を取り上げられたエピソード」

「文章とタイトルと写真の関係がもっとも良いと思われる」、「心情ではなく自然を対象として描いているところが評価できる。」(半沢)

このコンテストは今後も継続していきたいと考えているので、在学生にはぜひ応募してほしい。(准教授・文化領域・福嶋伸洋)

「写真と綴られている文章に独特の緊張感がある。レースのカーテン越しに感じられる夜明けの光線と周囲の仄暗さ。泣きながら起きたときから目を開いてみるまでに蘇る記憶の描写。写真とは無関係そうな「水」というタイトルの意味深長さもほど良い。」(沼田)

「不安定な構図の向こうに美しい光の奥行が感じられました。レースのカーテンの向こうにじっと目を凝らしていると水平線に光がゆらめいて船の中でまどろんでいるような気持ちにもなりまして。」(北村)

「文章とタイトルと写真の関係がもっとも良いと思われる」、「心情ではなく自然を対象として描いているところが評価できる。」(半沢)

「文章を取り上げられたエピソード」

「文章とタイトルと写真の関係がもっとも良いと思われる」、「心情ではなく自然を対象として描いているところが評価できる。」(半沢)

「文章を取り上げられたエピソード」

「文章とタイトルと写真の関係がもっとも良いと思われる」、「心情ではなく自然を対象として描いているところが評価できる。」(半沢)

「文章を取り上げられたエピソード」

「文章とタイトルと写真の関係がもっとも良いと思われる」、「心情ではなく自然を対象として描いているところが評価できる。」(半沢)

「文章を取り上げられたエピソード」

「文章とタイトルと写真の関係がもっとも良いと思われる」、「心情ではなく自然を対象として描いているところが評価できる。」(半沢)



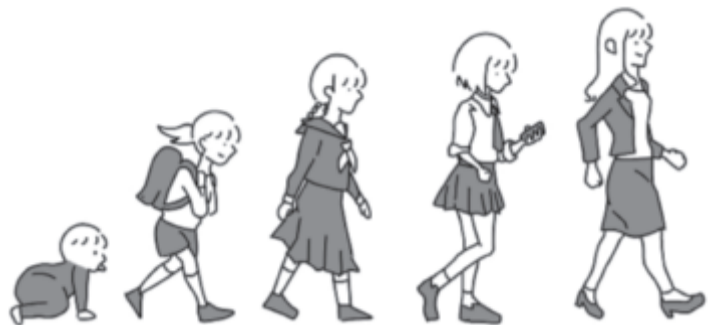
「文章を取り上げられたエピソード」

「文章とタイトルと写真の関係がもっとも良いと思われる」、「心情ではなく自然を対象として描いているところが評価できる。」(半沢)

「文章を取り上げられたエピソード」

「文章とタイトルと写真の関係がもっとも良いと思われる」、「心情ではなく自然を対象として描いているところが評価できる。」(半沢)

先輩たちの 社会人生活



特集



Kさん 26歳
(営業職を経て、現在は市役所勤務)

—最初の勤め先はどんなところでしたか？

Kさん(以下K) 新卒時の仕事は、個人向けの営業です。周りに話して、大人たちからは「やめておけ」と言われた業界でした。自分としては説明会に行ったなかでいちばん社員さんがキラキラ見えて、これが社会人かと憧れて決めました。お客様を支える、そんなに難しい営業、という話を聞いていたんですが、実際には、全く知らない企業に毎日通って、無視をされながらも挨拶をして、という……。

飛び込み先は決まっているんですが、誰も知らないなかに入っただけでいいのかなと不安でいっぱいでした。——

て営業をする仕事でした。——
—転職する理由で大きかったのは何でしょうか？

K 労働と対価が見合っていないと感じたことと、ここで働き続けても将来が充実しないと感じたことです。入社前にもらったパンフレットで、仕事と生活のバランスがよいとありました。学生のときにはそれを鵜呑みにしました。実際には、私は毎日深夜に帰宅して、朝七時前に家を出ていて、時給換算したら三〇〇円くらいだったんです。

—新しい仕事はどうやって見つけましたか？

K バイト先で正採用になるという流れでした。転職サイトで見つけて市役所でバイトしました。楽しいなと思いつつ仕事しているうちに、正採用の枠があることを知り、応募しました。

最初の仕事は知らない人にも話しかけたりする仕事だったんですが、物怖じしないスキルは身につけていました。最初の仕事がつまらなかった、割と何でもできるぞ、と強気になりました。——
—つらい経験で、能力が広がったんでしょうか？

K 転職した友達もそうなんです。最初につきい会社に勤めていても、その経験が無駄になったという人は一人もいません。社目であまり面白くないけど大丈夫です。

—五年後、十年後のイメージはありますか？

K 今は共働きも多い時代ですが、一社目は、仕事と家庭を両立できる会社じゃないとすぐにわかってきました。それも退職理由の一つでした。一緒に働いている人を見ると、家庭がうまく行っていないのがわかりました。

今働いている市役所は福利厚生も充実していて、そういうところで就職したんだから、共働きして子育ても一生懸命やって、という生活を送っていたいなと思っています。



Nさん 27歳
(コンテンツ関連の企業を経て、現在は専門学校学生)

—最初の就職のあと転職があった、現在は専門学校に通っているんですが、どういった経緯だったんでしょうか？

Nさん(以下N) 私は二〇一八年四月にコンテンツ関連の企業に入社し、二〇二〇年四月、コロナになったタイミングで異動がありました。事情は知らされませんでした。もともと異動の多いグループ会社だったので、新しい経験を試してみたいかなと思えました。

その後、子会社の社長秘書のような職務に就きました。売り上げが落ちているなか、各店長が怒



られている会議に居合わせるだけで、自分が何かを生産しているわけでもないという時間を過ごしていました。商談先のスケジュールを確認したり、どの電車に乗ればいいのかを確認したりするんですが、私が知っている上司に「どの号車で降りるのがスムーズか伝えて。前の●●さんはそうしてくれただよ」と言われたんです。

—何秒違うのか、という話ですね。

N それは自分の目指しているものじゃないかと思う、疑問を持ち始めたんです。残業は事前に申請しなければ勤務と認められなかったのに、上司が突然会議をしようと言いつつ、残業と認められない、などということが積み重なっていききました。勤務時間が長くなり、食生活も乱れて、肌も荒れて、また異動して一からやり直す力も残っていないように感じました。

会社を辞めたきっかけになった出来事があります。商談のあとで商談先の人と飲み会があり、そのあと直属の上司と二人で二次会に行っていたんです。そのとき上司が私を知っていたMさんという先輩から、「今後忙しくなるから誰か

を頼んでほしい」と言われたんです。Mさんは、Mさんという先輩から、「今後忙しくなるから誰か



女の子をつけたほうがいい」と言われ、私が秘書につくことになった、と言ったんです。私は「そんなんですね」と笑って受け答えしたんですが、そんな理由でここに来たのなら辞めよう、そのときに思い立ちました。

—「秘書」や「サポート役」ではなくて「女の子」をつける、という話だったんですね。

N どうしてこういう配属になったのか腑に落ちていませんでした。その言葉を聞いたときにそういうことだったのかと合点がいくと感じました。

—そこからどういうきっかけで専門学校に入ったんですか？

N コロナの影響で会社が倒産してハローワークに通っている友人がいて、Nちゃんは会社を辞めてこの制度を使ったほうがいいよと、「職業訓練制度」を教えてくださいました。資格を取って就職に役立つ制度です。簡単なエクセルやプログラミングを学んだり、スキルアップのための講座を開校しています。訓練期間中は失業給付が延長されるので資格取得にチャレンジしやすいです。

もともと食に興味があり、栄養士の学校は入学金が比較的高く、必ず二年は通学しないと取れない資格だったので、学費を抑えて学べるこの制度はいい機会だと思って栄養専門学校に入学しました。——
—専門学校での新たな学びはありますか？

来ている人も多く、学生の年齢は多様です。お子さんを育てながら通っている人や自分のアレルギーがきっかけで学びに来ている人もいます。

とは言い、大変なところもありません。ブラック校則のような頭髪検査があったり、誠実に授業をしない先生がいたりして、些細なルールにも疑問を抱くようになり、自分の感情を押し殺さずに生活しようと思ひ、抗議したりもしています。理不尽な状況に直面したとき、おかしいと感じて何か行動を起こすというのは、大学時代の四年間で学んだことの成果でもあると思います。

—「秘書」や「サポート役」ではなくて「女の子」をつける、という話だったんですね。

N どうしてこういう配属になったのか腑に落ちていませんでした。その言葉を聞いたときにそういうことだったのかと合点がいくと感じました。

—そこからどういうきっかけで専門学校に入ったんですか？

N コロナの影響で会社が倒産してハローワークに通っている友人がいて、Nちゃんは会社を辞めてこの制度を使ったほうがいいよと、「職業訓練制度」を教えてくださいました。資格を取って就職に役立つ制度です。簡単なエクセルやプログラミングを学んだり、スキルアップのための講座を開校しています。訓練期間中は失業給付が延長されるので資格取得にチャレンジしやすいです。

もともと食に興味があり、栄養士の学校は入学金が比較的高く、必ず二年は通学しないと取れない資格だったので、学費を抑えて学べるこの制度はいい機会だと思って栄養専門学校に入学しました。——
—専門学校での新たな学びはありますか？

プロットなどについて打ち合わせを経て、先生が描く段階に入りますが、その前の段階の打ち合わせに同行させてもらうことが多いので、こうやって作品を作っていくんだと思ったり、何時間も編集と作家さんで熱めの議論をしたり……(笑)。

私の会社の雰囲気だと思っんですが、作品として一貫性があるかだったり、ただキーンとするだけなく、もう一個学べる部分とちゃんと付け加えて作品にしたいという思いを持った編集者の方が多いところです。

作家さんは純粋にキーンキーンだけを楽しめる作品を描きたいという方もいたり、ひとりひとりのキャラクターの意味を確かめていくと編集の捉え方と違っていたり、理由はさまざまですけど、熱くなっています。

—今後はどういうふうに進んでいきたいと考えていますか？

S 就職活動をしていいたときにこの会社を選んだ理由には、新卒で編集職につけるところが少なかつたので、まず編集の仕事が学びたいということがありました。——
—大学では、いろんな国の作品やアートを学ぶ授業が多かったと思うんですが、ひとつのものを掘り下げるのではなく、広く、たくさんものに触れられる学部だっと思っています。たとえば、こういう国の衣装っぽいものを探してほしいと言われたときにも見当はずれで、というふうな、引き出しが増えたと思います。

自分が読んできた少女マンガとは違う少女マンガの部署にいますので、長い目で見たら、違うジャンルも手がけて

自分が読んできた少女マンガとは違う少女マンガの部署にいますので、長い目で見たら、違うジャンルも手がけて



—大学時代の経験や学びが仕事に生きていますか？

S はい。私は雑誌を切り抜いて手帳に貼ったりとか、もともとあるものをよりかわいくして自分使用するのが好きだったり、雑誌とかはすごく読んでいたので、そういうのが役に立っていると思う場面はけっこうあります。

同期で理系の大学に行って、そういうことにまったく触れてこなかった人もいて、リテイク「企画を却下されてやり直すこと」の回数が多い人多いと思うことあるの……。

大学では、いろんな国の作品やアートを学ぶ授業が多かったと思うんですが、ひとつのものを掘り下げるのではなく、広く、たくさんものに触れられる学部だっと思っています。たとえば、こういう国の衣装っぽいものを探してほしいと言われたときにも見当はずれで、というふうな、引き出しが増えたと思います。

自分が読んできた少女マンガとは違う少女マンガの部署にいますので、長い目で見たら、違うジャンルも手がけて



先輩、就活 どうですか?

構成:
松本希(文芸メディアコース3年生)

1年生から3年生が今後ぶつ
かかっていくであろう壁の一つに
「就職活動」というものがありま
すね。今回はですね、そんな壁を
乗り越えた4年生にお話を伺うこ
とが出来ました。このお話をヒ
ントにしてそれぞれの「就職活動」
を乗り越えていきましょう!

今回は4年生5名に協力して
いただき、5つの質問に答えてい
ただきました。それでは、一つづ
つ見ていきましょう。

いつから就職活動に関して動
き始めましたか?

こちらの質問に対して多かつ
たのは、「3年生の夏」という回
答でした。3年生の夏から、自己
分析や企業分析を始めたという声
がありました。ただ、中には意識
していたのは3年生の6月から
だったけれど、実際に動き始めた
のは3年生の2月からという先輩
もいらっしゃいました。

自分が行きたい会社に合わせて
動くのが一番だと思いますが、
「就職活動をする」という意識だ
けは忘れてはいけないのかもしれ
ませんね。

就職活動の軸はどのように定
めましたか?

こちらの質問に対しては、自分
敗を恐れずに自由にお話しまし
た。

の思う「やりがい」があるかどう
かや、土日が休めるかどうか、人
間性を見られる会社であるかど
うかなど、幅広い回答が来まし
た。自分の過去の経験を振り返
て自分の軸を決めたという先輩が
2人いらっしゃったので、私もと
りあえず過去の経験を振り返っ
てみるころから始めます!

自分の希望した業界や業種を
選んだのはなぜですか?

これに関しては、幼い頃から
の夢だったからという声がありま
した。また、「最初は自分が身に
つけるようなメイクや化粧品、洋
服等の会社に進みたいと思ってい
たけれど、何気なく行ったあまり
興味のない社員のインターン
で出会った社員さんの、素敵なお
話が忘れられずにブランド方面
の会社に進んだ」という先輩もい
らっしゃいました。

私はインターンでそんな出会
いがあるのかと驚いたのと同時
に、そういった出会いを探すため
に就職活動を楽しもうと思っ
てきました。

面接は緊張しましたか? ま
たく服のための方法があれば教え
てください。

・緊張しました。この人たちはも
う一生会うことがない、と思って失
敗を恐れずに自由にお話しまし
た。練習あるのみ!
・緊張しました。練習あるのみ!
質問されそうな項目をワードにま
とめて、全ての回答を考えました。
キャリアセンターフル活用!
・オンライン面接が多かったが、対
面の面接では緊張した。ノックの仕
方、挨拶の仕方、着席の仕方など
面接の作法を守るが大変だった。
・中には圧迫面接もあったが、そ
ういうときには、この人はこうい
う風に生きてきたんだと上から
見て対処していた。

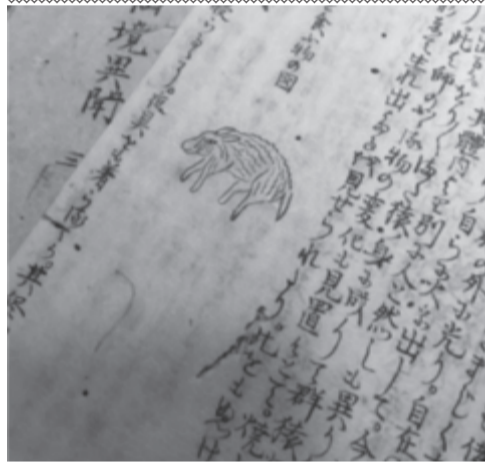
・だんだん慣れていくというのは
あった。「ザ・営業」というタイプの
プライドの高そうな面接官は苦手
だった。そういう場では、とりあ
えず笑顔で乗り切った(笑顔は引
き連れていたかもしれない)。人
事担当者が魅力的でないと、その
企業に対する興味がなくなった。

後輩へのアドバイスがあればお
願いたします。
息抜きが大事です! 就活しな
がら趣味も充実させて女子大生を楽
しむことを忘れないでください!
・絶対行かないなと思う企業で
もインターンに参加してみる。意
外と人事の方の話が面白かった
り、興味湧いたりします。
・就活エージェントを信用しない
方がいいと思う。説明会に行っ
て自分の目で見た方がいい。
・就活は、長くやるから有利とい
うわけでもないかもしれない。適
度に飲みに行ったりして、ストレ
ス解消しながらやる方がいい。
・他人と比較しないことが大事だ
と思う。就活をやっているなかで
すごい人に会って、自分を卑下す
る気持ちになることがある。自分
を否定してしまうと、就活が続か
なくなる。今日の自分かわいとい
か、こんなになんばっているとか、
自分を褒めながら就活していた方
が楽しい人生を送れそう。
・人によるかもしれないけれど、
夏から短期でがんばった方がいい
と思う。長く、コツコツやるの
が向いている人もいるかもしれな
い。大学の説明会もおすすめ。

4、5番目の質問は、ほぼその
ままの声を載せてみました。5名
の先輩方ありがとうございます。
遊んで気持ち切り替えていた
と回答してくださっていたよう
に、上手く切り替えをしつつ就
職活動を進めていきたいですね。



取材、構成:
松本希(文芸メディアコース3年生)



平田篤胤「仙境異聞」写本より「鉄を食ふ物」の図

先生の視点から
ご覧になってど
うか?という質
問をさせていただ
いた流れで伺
えたことだった
のだが、「呪術
廻戦」も「鬼滅
の刃」も、私た
ちはフィクショ
ンとしてお話を
楽しんでいる。

今年度、共立女子大学にいらっ
しゃった今井秀和先生(言語・文
学領域 日本語・日本文学専修
ご専門は中近世文学)への取材を
させていただくことになった。事
前に大学のサイトで調べると、研
究内容のキーワードという箇所
に、「神仏、妖怪、呪術」という
言葉が並んでいた。アニメに興味
がある私は、一気に先生の研究へ
の興味が湧いた。なんと単純な
ものである。
全くお会いしたことのない先
生なので、少々緊張した、とい
うのが正直なところではある。しか
し、研究室に足を踏み入れる
と、今井先生が研究されている世
界を味わうことができ、とても新
鮮な気分になった。水木しげる先
生の本や、「呪術廻戦」や「鬼滅
の刃」のグッズ、触ったら申し訳
ないような写本や「古事記」など
が綺麗に並んでいた。そういった

「呪術廻戦」は
先生の視点から
ご覧になってど
うか?という質
問をさせていただ
いた流れで伺
えたことだった
のだが、「呪術
廻戦」も「鬼滅
の刃」も、私た
ちはフィクショ
ンとしてお話を
楽しんでいる。

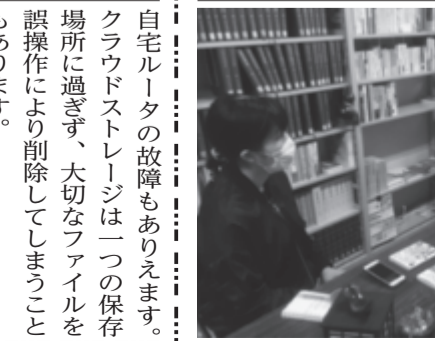
ただ、昔の
人は、とき
に鬼や呪術
をノンフィ
クションと
して信じて
いた。では、
元の話とア
ニメはどの
部分が同じ
か、違う部分はどこか、なぜその
部分を変更したのかなど比較をし
て考えていくという視点が重要。
とおっしゃっていた。
またそのお話の流れで、「私た
ちは古いやおみくじや幽霊など
を、信じていないと言いつつも、
一瞬それに左右されて、喜ん
だり、落ち込んだり、恐れたりし
ている。これは、広い意味では神
仏や呪術、怪異などの不思議な力
を信じていると言えらるのではない
か。」とおっしゃっていた。朝
のニュースの占いを喜んでるだ
り、少し落ち込んだりするタイプの私
としては、完全に自分にはなかつ
た視点だったので、納得させられ
た。またそう考えると、神仏や妖
怪、呪術は一体どういう存在なの
だろうとわからなくなったりもし
た。だからこそ、それらの存在を

研究していくのは面白いのだろう
なと感じた。最後に、学生の皆さ
んに伝えたいメッセージを頂戴し
てきた。
「何事も、最初から答えがあると
は思わないでほしいんです。今現
在、インターネットで検索して得
られる情報は多いのですが、本当
にそれが正しいのか調べて、きち
んと疑ってほしい。私自身は大学
に入學してすぐに、辞書に書いて
あることをそのまま信じるな、と
教わりました。というのは、辞書
や事典に書いてあるような基本的
なことであっても、日々いろんな
研究が進んでいく中で、実はそう
じゃなかったって新たに分かるこ
ともたくさん、あるんですよ。
だから事典は版を重ねて変わっ
ていくんです。教科書もそうです。
ですから、すでに誰かが用意した
答えがあつて、それを見つければ
解決...じゃないよってことを体
感していくのが大学で学ぶべきこ
とです。目の前のものごとに対し
て、Aさんはこういう風に解釈す
るけど、Bさんはこう解釈する。
で、学生である皆さんは、どう新
たな解釈をするか、っていうこと
が最も大事な点。ぜひ、明確な

東北地方在住の郷土史研究家
いては大量の古い文献や原稿用紙
などの紙に記した原稿はコピーを
とるのが大変ですが...
授業の提出物やノート、卒論関
連のデータや資料、書きかけ原稿
など、バックアップをとりましよ
う。二千円程度のUSBメモリに
毎日コピーをする、それだけです。
「私はクラウドストレージに保存
しているから安心」と言っている
そのあなた、いつでもネット環
境が万全なわけではありません。

「呪術廻戦」は
先生の視点から
ご覧になってど
うか?という質
問をさせていただ
いた流れで伺
えたことだった
のだが、「呪術
廻戦」も「鬼滅
の刃」も、私た
ちはフィクショ
ンとしてお話を
楽しんでいる。

私が抜粋して書かせていただ
こうも思ったが、それでは今井
先生のお言葉の魅力が失われると
思い、最後のメッセージはほぼそ
のまま書かせていただいた。今井
先生は、ご自身の研究のお話をさ
れる際はとても目を輝かせなが
ら、そして私が好奇心丸出しの質
問をした時や、最後のメッセージ
を伝えていただく際は、じっくり
と考えながらお話をしてくださ
った。ゆったりとした空気感ではあ
るが、先生の芯の通ったお話を伺
うことができた。



取材、構成:
松本希(文芸メディアコース3年生)

自宅ルータの故障もありえます。
クラウドストレージは一つの保存
場所に過ぎず、大切なファイル
を誤操作により削除してしまうこと
もあります。
・ファイルのコピーしたUSB
メモリは、できればパ
ソコンとは別の場所で
保管しましょう。パソ
コンと一緒に流されたり
り燃えたり盗まれたり
してしまつては意味がありません。
盗難の恐れのないところに置
いた耐火金庫に保管するのが一番
です。(大げさ?)
教授・文芸メディア・藤田岳久

サケメンタラコ

塚越英恵

「鶏カラマヨ」「豚バラチャーシュー」「あさり昆布」。おもわず手が伸びてしまいそうなこれらの食材で、手作りおむすびを販売しているお店がある。共立女子大学から徒歩10分、神田スクエア近くに位置する、十穀米おむすび専門店「十穀和長」だ。



「具だくさん豚汁」。こちらはMサイズ税込み250円で、寒い季節にぴったりな至高の一杯だ。数量限定のお得な「ランチセット」は、おむすび二つに厚揚げ、子と鶏も唐揚げ、日替わりのおかずが付いて500円。屋過ぎには売り切れていることが多いので、人気商品なのでお早めに！

タイトルにもある「サケメンタラコ」は、十穀和長のおむすびの中で筆者が好きな具材のひとつである。「メンタラコって……メソントイコじゃないの？ 鮭と明太子ってこと？」と、名前の由来が気になった方は、ぜひ店頭でご確認いただきたい。(芸術領域助手)



領域から
「食」は生きるための「命」を支える。食は命の源であり、命は食によって成り立つ。このおむすびは大きい。厚みがある。おむすびは詰まっている。「こ



白いごはんは合うものといったらなんだろう。刺身や肉、野菜にも合う。それ以外にもうどんやお好み焼き、キムチなど一品ものにも合う。
お昼の時間になったとき、無性に白米が食べたくなった。白米が食べられるとしたら定食、定食だ。何かが食べたいかいろいろ考えながら、外に食べに行きた。中華料理屋の前を通りかかったとき、外に出ていた看板に『ぎょうざ』と書いてあるのが

目に入った。そうだ、今日は餃子の定食を食べよう！
神保町で餃子の定食が食べられるところといえば、ずずらん通りにある三幸園(外観が黒いほう)が浮かび、ランチの時間ギリギリに入った。
三幸園にはランチの時間限定で大餃子定食というものがある。大学二年生の時にも一度食べたことのある定食。
約12cmも大きさが餃子6個、サラダ、スープ、フルーツゼリーとごはんがついて値段は1000円。餃子が大きいため実際にテーブルに運ばれてくるとなかなかのボリュームがあるメニューだ。
餃子の外はぱりぱりで中の肉がとろとろふくらふ。お肉がおいしい。そのごはんと一緒に食べるとさらにおいしく感じる。その他の付け合わせもとてもよかつた。
サラダがついているおかげで、ごはんを食べて罪悪感が減るのでとてもありがたい。ドレッシングもテーブルに置いてあり、自分の好きなものをかけられた。スープも中華によく使われていて、味がきいたスープで、ごはんの途中で飲んでも味を邪魔しない味だった。中華料理屋で出てくるスープはあまりはずれがなく、いくらでも飲めそうと思った。最後に食べた(おそろく)フルーツゼリーもさっぱりとしていて、最後に食べるのにはよい甘い味だった。
学生からすると1000円の昼食は高いか安いかわからないが、お昼に小腹いっぱい食べたというときがあったら、一度でよいのでぜひ食べてみてほしい。(文芸メディア領域助手)

わたしの

おすすめランチ
笹原美咲

共立女子大学がある神保町には美味しい料理店がたくさんあることを知っていますか？ 私は大學生の時、友達と一緒に3限に空きコマを作って神保町ランチ会をしていました。時間をずらしてお店にいけるため混雑も避けられておススメです。ぜひやってみてください！
今回は「ブックタウンで昼食を」というタイトルに沿って、私の神保町おススメランチを紹介したいと思います。本館を出て、テラススクエアの道を5分ほど歩いたところに「デニール神田店」というイタリアンのお店があります。ランチメニューはカニ・塩・トマト・カレーの4種類のパスタと月に一度だけクリームソースのパスタがメニューに加わります。ほぼ全てのメニューにサラダとデザートがついて1200円となっていて、クラッシュしたナッツが入ったあつさり系のイタリアンサラダは後を引く美味しさなので、一度は食べてみてほしい一品です。パスタはどれも美味しいのですが、お薦めはやっぱりカレー!! ホールスパイスの風味香るキーマカレーには枝豆・パプリカ・カボチャがたくさん入っています。なんと刻んだ福神漬もはいっている。キーマカレーはそんなに辛くはないので、辛いものが苦手な人もおすすめです。食べることができるといいます。またお金に余裕があるのなら、ズワイガニのトマトクリームパスタを食べてみてください! 聞いたところによると、2200円と少し高めですが看板の「本当に美味しいパスタ 食べたことありますか?」のキャッチフレーズ通り、とっても美味しいらしいです。(紹介しているくせに私は



食べたことはありません……)。デニール神田店はテイクアウト可能ですが、お店に食べに行くのは難しい、という方は利用してみてください。みなさんのおススメのお店がありましたら、教えてください! (文化領域助手)

穏やかな秋の日差しに誘われて散歩に出ると、不意に雨に降られることがある。あわてて駆け込んだ店で手にしっとりくる傘を見つけると、先ほどの気持ちはどこへやら、雨のなかに飛び出すのが楽しくなったりもする。この件に限らず、禍福はあざなえる縄のごとし、何かを手にするかと思えば何かを失い、また何かを失ったようで、何かを得ていることもある。
ところで、私は授業で達成感を得た日に限って物をなくすらしい。ことはなくすに限られない。ゼミの授業に、学生の興味に合わせてお風呂にまつわる小説のアンソロジーを持っていった。こんな本もあるのかと、学生の反応は上々だった。しかし、授業後にキャップの緩んだ飲み物とその本を一緒にカ

心象点描
片山耕二郎

パンに入れてしまい、研究室で取り出したときにはお茶まみれだった。文字に沐浴させたなどふざけている場合ではない。必死に乾かし、重石を載せておいたが、本は倍の厚みに膨らんだ。
同様にして、夏休みまでに常用していた物を三つなくした。まず、ワイヤレスイヤホン。二号館での授業の前に、好きなドイツ人



本日は教えたくない
絶品タルトのお店
奥山晴香

大学の夏休み期間である八月の出勤時には、外にランチに行くのが私の楽しみの一つです。助手になり数年、色々なところで足を運びましたが、四年目にもなると少しマンネリ化してきます。今日は久々に少し遠くまで足をのぼそう、と小川町・御茶ノ水周辺をぐるぐるしているときに見つけたのが、今回ご紹介するケーキのお店「STYLES CAKE&CO」です。

元々のテーマは「神保町のランチ」なのですが、美味しいランチは周りの助手さんにお任せして(ごめんなさい)、食後のデザート編です。
さて、このお店、神保町と御茶ノ水の間に位置する、タルトがメインのお店なのですが、どれを食べても本場に絶品なのです。

私が、タルトってこんなに美味しかったのか……と感動したお店。私のおススメは「バナナクリームタルト」(でも正直おススメを選ぶのも難しいくらいどれも美味しい)。甘さはどちらかというと控えめで、タルト生地がザクザクタイプ。季節ごとのフルーツタルトもあるのですが、一年中通えます。
一つだけ注意してほしいのは、人気のお店ゆえお昼には商品が全て完売なんてこともざらであるということ。商品が売り切れ次第、お店は閉まります。助

手のレストランは大体皆さんの3限開始以降の時間帯なので、その時間にお店が開いていたらそれはもう奇跡。大学生の皆さんは是非午前中の空きコマを利用して行ってください。
神保町には路地が多くあり、少し歩くと古い喫茶店や居酒屋さんが点々としていて、空きコマの散歩や探検にちょうどいい街だと思います。学生のうちにたくさん神保町を練り歩いて、たくさんのお店を見つけてほしいです。そして、最初から最後まで一緒に業務を進めてくれた文芸学部広報委員に深く感謝しております。(福嶋

編集後記
今号からわたたくし、文化領域所属教員の福嶋が編集長を務めることになりました。フォト&ストーリー・コンテストを開催したり、卒業生にインタビューしたり、アルバイト学生2名の協力を仰いで紙面作りしたり、新しい試みも入れました。慌ただしいスケジュールでご寄稿・ご協力くださった方々に深く感謝しております。また、最初から最後まで一緒に業務を進めてくれた文芸学部広報委員に深く感謝しております。(福嶋

会担当助手の塚越さん、千葉さんに深く感謝しております。(福嶋

に深く感謝しております。(福嶋